

# 教科シラバス（数学科）

科目名	数学研究A	単位数	2	対象	3年 一般類型 商業コース	使用教材	教科書	自作プリント	副教材	数学就職問題集 <small>(愛媛県高等学校教育研究会)</small>
学習目標										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2年生で学習した高校数学の基礎的・基本的な知識および技能の確実な定着を図り、数学における概念や法則についての理解を深め、それらを的確に活用する能力を伸ばす力を身に付けることを目標としています。</li> </ul>										
学 習 内 容	単元・要目	指導項目				学習内容				
	第1章 比と歩合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金額の計算</li> <li>・食塩水の濃度</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・金額の計算などを通し、実用性のある計算力・読解力を高めます。</li> </ul>				
	第2章 数と式の計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展開・因数分解</li> <li>・文字式</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・指数法則や因数分解の公式などをしっかり復習し、計算力・応用力を高めます。</li> </ul>				
	第3章 1次方程式と1次関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次方程式の文章題</li> <li>・直線の方程式</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読解し、文字を用いて適切に情報を整理する能力を養います。</li> <li>・関数の方程式の求め方を復習し、文章題への応用を行います。</li> </ul>				
	第4章 2次方程式と2次関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次方程式の文章題</li> <li>・二次関数の方程式・平行移動・最大・最小</li> </ul>								
	第5章 不等式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不等式の文章題</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な問題を解くことで、実用性のある計算力・読解力を高めます。</li> </ul>				
	第6章 三角比と三角関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角比の利用</li> <li>・三角比の相互関係</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角比の相互関係などの復習をし、正弦定理・余弦定理を再確認して応用問題を解きます。</li> </ul>				
	第9章 場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場合の数</li> <li>・順列</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な問題を解くことで、確率の問題パターンを整理し、応用力を高めます。</li> </ul>				
	第10章 図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形の性質</li> <li>・チェバの定理・メネラウスの定理</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・図形における様々な定理について復習し、図形における認識力を高めます。</li> </ul>				
	第12章 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章題</li> <li>・図形問題</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を適切に整理し正しく処理できる。</li> <li>・図形問題を通し、空間認知の能力を高めます。</li> </ul>				
第13章 総合問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめ</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践演習を通し、自分の力を把握し苦手克服に努めます。</li> </ul>					
授 業 の 概 と 特 色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題集の内容に沿いながら演習を繰り返すことで、数学的な概念や法則に対する理解を深めます。</li> <li>・各自が割り当てられた問題は黒板に板書し、他の生徒に解説・説明します。</li> <li>・過去の問題や大学入試問題を利用して発展的な学習も行うことで、理解を深め、受験に対応する力を養います。</li> </ul>									
学 習 評 価 の 観 点 及 び 方 法	<p>(観点1：関心・意欲・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度、出席状況を評価します。また、ノートを点検し、評価します。</li> </ul> <p>(観点2：数学的な見方や考え方)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的な見方や考えを問う課題を与え、提出させて点検し、評価します。</li> </ul> <p>(観点3：数学的な技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査において、数学的思考力、表現・処理する能力、推論の方法をバランスよく評価します。</li> </ul> <p>(観点4：知識・理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査及び小テストにおいて各単元ごとの基本的事項を確認し、基本的な概念や用語・記号などの確認をして評価します。</li> </ul>									
学 習 サ ポ ー ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた問題集等は、計画的に解いて、理解が十分ではない点は先生に質問しましょう。</li> <li>・ノートは、分かりやすく余白を十分にとって、整理しましょう。</li> <li>・演習中心の内容で、割り当てられた問題は責任を持って学習し、きちんとした板書ができるよう、しっかりと準備をしましょう。</li> </ul>									